



<http://konno-norito.com/>

e-mail : konno@konno-norito.com

民権フォーラム横浜市議員団

活動レポート NO.92-2

こんの典人事務所 (H31.1 発行)

〒 226-0003 横浜市緑区鴨居 3-1-14-105 ☎045-929-3030 fax045-342-4330

(立憲民主党)

こんの典人 活動中

“カジノ/反対”を決めるのは4月!

選挙結果が重要な意味を持つ

横浜市は、カジノを含む統合型リゾート (IR) の誘致について「白紙」とし、態度を決めていませんが、候補地とされる山下ふ頭の再開発は進められています。市は9月に民間事業者に対して IR の事業性や経済効果、懸念事項などの調査を依頼し、年度内に公表する予定としています。

よって、いよいよ“カジノ”を横浜に「造る」のか、「造らない」のかを決める段階が迫ってきています。

カジノは、本人だけではなく家族まで崩壊させかねない「ギャンブル依存症」の問題、借金苦などによる「自殺増加」の問題、さらに、大金が動くことから「風紀の乱れ、治安の悪化」の問題、違法なお金の出所を分からなくする「マネーロンダリング」の問題など、問題が多すぎます。

私の所属する立憲民主党は、カジノ誘致に明確に反対しています。横浜は、観光、港湾、オープンイノベーション、モノづくりなどに加え、郊外部の再整備や暮らしやすさを追求し、持続可能な発展を目指すべきです。平成31年は統一地方選挙と参議院選挙が行われます。カジノに対する市民の意思表示をしっかりと示す重要な1年になります。

タウンミーティング緑のご案内

日時 1月19日(土) 10時30分~正午

会場 こんの典人事務所 会議室(20名)
緑区鴨居3-1-14(ガスト鴨居店そば)

電話 045-929-3030

※定員20名となりますので、ご参加いただける方は事前にお名前お電話番号をご連絡ください。
(eメール、留守電でも受け付けています)

スッキリしない 消費税10%
来月10月、消費税が現在の8%から10%に引き上げられるのを前に、理解し難い軽減税率の問題や何のためのポイント還元なのか?と問われることがあります。

分りにくい軽減税率

政府が軽減税率導入にこだわり食料品を対象にすることは是としたとしても8%もあれば10%の場合もあることに驚きました。例えばコンビニのお弁当を店内で食べれば10%、持帰るなら8%とのことでした。2つ買って1つ食べる場合は、別々の税率になるのでしょうか?お店の人も大変です。

ポイント還元疑問

さらに最近、カードで買うなら5%ポイント還元するとの発言が飛び出してきました。しかし矛盾や問題があります。まず、消費税2%の増税なのに5%還元したら減税になり税収が減ります。次に9カ月間の期間限定のため、その後は一気に5%の大幅増税になり消費が冷えます。さらに、ポイント還元は、現金支払いは対象にならないため、対象が限られます。日銀によれば日本人は8割程度が現金支払です。カードで高級品を買う人にはお得でも、不公平感が大き過ぎます。

何のための増税か

現在の国や地方の財政状況や少子高齢対策などから、ある程度の消費増税を止むを得ないとする声も聞きます。だからこそ増税によって何がどう変わるのかを明確に示し、実績も知らせる必要があります。消費税10%の内2.2%が地方分です。間違っても無駄な公共事業等に回らないようにしなければなりません。

(十二月六日 タウンニュース掲載記事)

まっとうな政治を。ここ、横浜から。

日本を亡ぼす「カジノに反対!」「原発ゼロ」で再生可能エネルギー技術立国へ転換
☆ビラ配りなど「お手伝いいただける方を募集中!」です。

法律相談

荒井俊通 弁護士
(無料)
事前予約が必要です

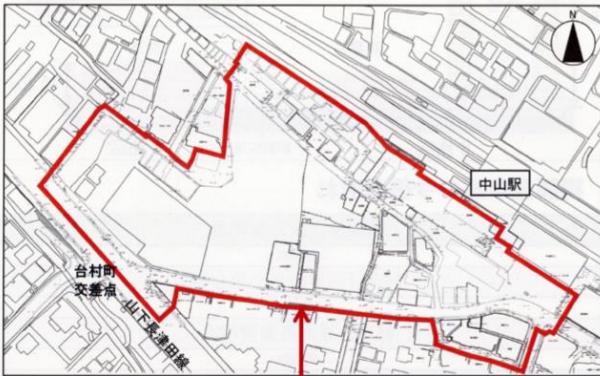
市民相談

お困りごとは
この典人へ
気軽にご相談ください

中山駅南口再開発事業いよいよ都市計画決定へ 地権者や地域の方々の協力で素晴らしいまちづくりへ

中山駅南口整備に対する問い合わせを何度もいただきましたが、いよいよ再開発に向けて大きく動き出します。この間、地権者の方々でつくる再開発準備組合（中山駅南口地区市街地再開発準備組合）が、これまで検討を進めてきた再開発計画案を周辺地区の方々に説明し、地権者の方々や周辺地区の方々のご協力によって素晴らしい再開発事業へ向かっています。以下、その概要を掲載致します。

【再開発の位置図】



中山駅南口地区第一種市街地再開発事業
施行区域：約 2.8ha

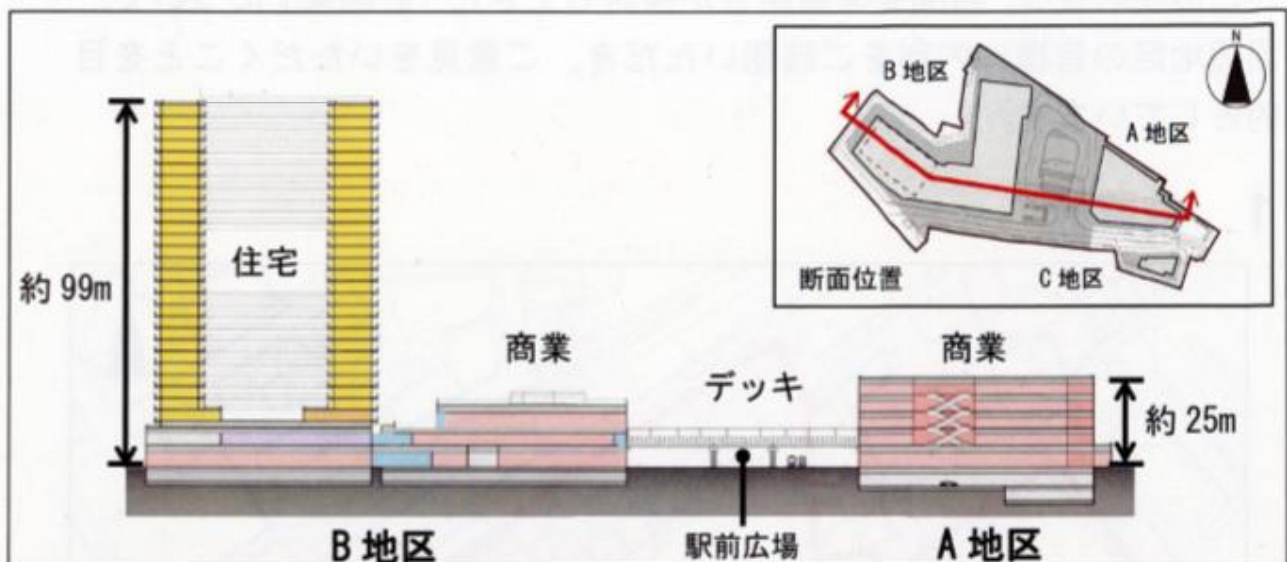
地区の課題の整理と再開発事業の必要性

- ① 狭い駅前広場
- ② 狭い商店街通り
- ③ 地区内建物の老朽化



安全・安心で
賑わいのある
まちづくり

施設断面イメージ



再開発事業の目標

- 再開発事業により駅前広場や道路を整備
- 地域の交流、憩いの場として歩行者広場等を整備
- 歩行者ネットワークの整備
- 商業施設、都市型住宅、子育て支援施設等を整備

施設配置イメージ



再開発事業の流れ（抜粋）

- H29.11.10・12 事業者による説明会
- H30.1.31 都市計画手続きの申し出
- H30.6.15 市素案説明会
- H30.7.20 都市計画公聴会

H30年度内（予定）都市計画決定

問合せ先

横浜市都市整備局市街地整備推進課